

平和な世界のために ヨコハマから できること

くわしくは
2・3面へ

横浜市版

16面 スポーツの力を横浜の力に

各種手続・窓口案内
市営交通の案内など

横浜市コールセンター（毎日8時～21時）
☎045-664-2525 ☎045-664-2828

横浜市コールセンター 検索

区役所の
開庁時間

●平日8時45分～17時（祝日・休日・12月29日から1月3日を除く）
※昼の時間帯はお待たせする時間が長くなる場合があります。
●毎月第2・4土曜日 9時～12時
（戸籍課・保険年金課・こども家庭支援課の一部の業務）

横浜市データ
2025年
7月1日現在

人口 3,773,476人
世帯数 1,836,601世帯

横浜市 推計人口・世帯 検索

- 8月号は、7月14日時点の情報に基づき作成しています。●開館時間や休みなどは各問合せ先に確認してください。
- 収集した個人情報や意見は「個人情報の保護に関する法律」に従い、目的の範囲内で適正に管理・利用します。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

平和な世界のために ヨコハマから

横浜と戦争 ～戦後80年を迎えて～

横浜大空襲と米軍による接收

今から80年前の1945年5月29日、横浜の街は大きな空襲に見舞われました。空襲は午前中に始まり、軍の施設だけでなく、住宅や商店、学校などが次々と焼かれ、公式発表によるとわずか1時間ほどの間に3,650人もの人が亡くなり、1万人以上がけがをしました。家を失った人は31万人以上にのぼるといわれています。その後、戦争が終わると、横浜の港や街の中心部は連合国軍に接收されました。

接收により、横浜の復興はすぐには進まず、人々は長い時間をかけて街を立て直していくことになりました。今の横浜に暮らす私たちは、こうした歴史を決して忘れず、平和の大切さを考えながら、これから先の横浜を作っていかなければなりません。



▲空襲後の横浜の様子

しょうい だん 焼夷弾の火の海の中を走った



横浜大空襲の経験を語る
瀬谷区在住の
ふじはら りつこ
藤原 律子さん (94 才)

5月29日は登校日でした。学校に着いてほどなくして空襲警報が鳴り響きました。電車が止まり、自宅に帰れなくなり、私は浅間町の叔母の家に向かいました。すぐに避難するよう促され、近くの防空壕へ飛びこみました。防空壕の扉を閉めると同時に、B-29の編隊が空を覆いつくすのが見えました。直後に飛行機の大きな爆音、焼夷弾の落ちる大雨のような音が聞こえ、しばらくして扉を開けると、あたり一面火の海でした。

猛火から逃げる最中、前を走っていた顔見知りの男の子の右足に焼夷弾が直撃し、膝から下が失われるのを目の前で目撃しました。避難することで精一杯だった私は、少年を助けることをしませんでした。その時のことが今でも強い痛みとなって心に残り、しばらくの間、戦争体験を誰にも語ることができませんでした。

しかし、戦争を知る世代も少なくなり、私の実体験を伝えることで、子どもたちが平和について考えるきっかけをつくりたいと思うようになりました。今でも世界では戦争が続いていますが、戦争によって得られるものは何もありません。

だからこそ、次の世代へ平和を受け継いでいきたいと強く願っています。

横浜から世界へ、技術と心でつなぐ国際協力

水道技術を通じて世界とつながり、ともに未来をつくる

横浜市は50年以上にわたり、アジアやアフリカなどの開発途上国で、現地の技術者への研修、水道施設の運営改善など、安全な水の供給に関する技術支援を行っています。

ベトナムのフエ市では水道水が蛇口から直接飲めるようになり、アフリカの馬拉ウ共和国では漏水が減少するなど、生活環境の改善に貢献しています。

マラウイ共和国での現地活動の様子▶



▲被害を受けたオデーサ市の保育園

市民とともに進めるウクライナ支援

横浜市では、他都市に先駆けて、民間企業や国際協力機構（JICA）などと連携し、ロシアによる侵攻から4か月後に移動式浄水装置を緊急支援し、約10万人分の飲料水の確保に貢献しました。また、民間企業や市民の皆様の協力のもと、約2,400万円を寄付しました。

さらに、国連開発計画（UNDP）と連携し、爆撃被害を受けたオデーサ市の保育園の復旧支援も進めています。今夏には部分的に再開予定で、園庭の遊具設置などに向けたクラウドファンディングの実施も予定しています。



ウクライナ支援
については
こちら

できること

世界へ届け！4万人の子どもの声

横浜市では、未来を担う子どもたちが「国際的な視野」と「平和への意識」を育めるよう、1986年から「よこはま子ども国際平和プログラム」を実施しています。

プログラムの中心となるのが「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」。現在は、市内の小・中学校や特別支援学校から約4万人もの子どもたちが参加する規模となり、「国際平和のために自分にできること」をテーマに、自分の思いを言葉にして発信します。



詳しくは
こちら

2024年に参加した子どもたちの声

世界平和を実現するためには、互いの『違い』を尊重することが大切。言葉や文化、考え方が違う人々の“懸け橋”になりたい。



潮田中学校
3年(当時)
林 睿騰さん

平和は戦争が無いことだけではない。差別をなくし、全ての人が幸せに暮らせる世界をつくりたい。



市場小学校
6年(当時)
志村 優妃さん



▲スピーチコンテスト参加者のグループワークの様子

イベント開催

芝生の上のブックカフェと サマーナイトシネマ

市役所アトリウムが平和を考える場所へ。

【日時】8月11日(月・祝)

【会場】市役所アトリウム

主催：横浜市



詳しくは
こちら

昼の部(14時～17時)

芝生の上で親子でくつろぎながら、平和にちなんだ絵本の読み聞かせなどを行います。



夜の部(17時30分～20時30分)

『シチリアを征服したクマ王国の物語』の鑑賞(上映開始19時～)などを行います。

あらすじ…クマが人間たちに立ち向かう冒険を通じて、異なる文化との共存の難しさと大切さについて伝える物語



©2019 PRIMA LINEA PRODUCTIONS
- PATHÉ FILMS - FRANCE 3 CINÉMA -
INDIGO FILM

かつての米軍施設を市民の未来を育む拠点に

横浜市では、太平洋戦争後、旧日本軍の施設の多くが米軍に接收され、通信施設や燃料貯蔵施設、米軍関係者の住宅地などとして使用されてきました。これらの施設は、長年にわたり市街地の発展に影響を与えてきましたが、近年返還が進み、市民の新たな財産としての活用を進めています。



▲市内最大級の新たな桜の名所づくりを推進（上瀬谷地区）



誰もが遊べる広場（小柴自然公園）▲

金沢区の小柴貯油施設は2005年に返還され、跡地を「小柴自然公園」として整備中です。市民の意見を取り入れた公園づくりを行い、2023年にはインクルーシブ遊具広場など、誰もが楽しめる空間が誕生しました。

また、2015年に返還された旧上瀬谷通信施設は、その一部が「GREEN×EXPO 2027」の開催地として、「新たなグリーン社会」のあり方を発信する場となります。その後も、豊かな自然環境や生態系を生かした公園を整備し、広域防災拠点機能や交通利便性を高め、横浜市西部の活性化を担う新たなまちづくりを進める予定です。

地球に良いと、私もちょっと良い気分♪



◀横浜市脱炭素応援キャラクター「バクバク」

「YOKOHAMA GO GREEN」を合言葉に、未来と地球にやさしい選択を！

横浜市脱炭素
ポータルサイト

横浜のシェアサイクルがさらに便利に！

全国初！共同ポート化スタート！ 快適で地球にやさしい移動を

市内900か所以上に設置されたポートで、電動アシスト自転車を手軽に借りられる「シェアサイクル」。目的地近くのポートに返却できるので、買い物やお出かけなど、ちょっとした移動にとっても便利です。

6月より、7区※で「baybike」と「HELLO CYCLING」のどちらも利用可能な共同ポートの運用がスタートし、より使いやすくなりました。共同ポートは現在市内に100か所以上あり、**2025年度中には、18区へと拡大予定**です。

※磯子区、神奈川区、鶴見区、中区、西区、保土ヶ谷区、南区

詳しくは
こちら

▲共同ポート（イメージ）



事業者 ※利用料金は変更になる場合があります。

㈱ドコモ・バイクシェア (baybike)



【1回利用】利用開始30分：165円

【月額会員】3,300円/月

(1回利用・月額会員ともに延長30分ごと：165円)

【1日パス】1,650円/1日分(当日23:59まで利用可能)



OpenStreet㈱ (HELLO CYCLING)



【1回利用】利用開始30分：160円

延長15分ごと：160円

上限：2,500円/12時間



利用方法

STEP
1アプリをダウンロード・会員登録
利用には会員登録が必要です。STEP
2

ポートで借りる（解錠・利用）

スマホで解錠し、すぐに利用可能。アプリでの事前予約もできます。

STEP
3

ポートへ返却

好きなポートに返却。施錠して、返却ボタンを押すだけです。

エコな暮らしでポイント還元

7月31日(木)スタート 横浜グリーンエネルギーパートナーシップ事業^{ワイグレップ}(YGrEP)

自宅などに太陽光パネルをはじめとする環境にやさしいエネルギー設備などを導入した方に、キャッシュレスポイントを還元します。(1ポイント1円相当)

削減されたCO₂は、市内のイベントなどで排出されるCO₂と相殺することで、環境への負担を軽減します。

詳しくは
こちら

申請期間

7月31日(木)～12月22日(月)

※予算の上限に達した場合は終了します。

参加手順

- ① オンライン（または郵送）で申請
- ② 対象設備を市内の自宅に設置
- ③ 設置完了の申請
- ④ キャッシュレスポイント（または商品券）を受け取る
- ⑤ モニタリングデータの提供（年1回程度）

① の申請前に設置した設備はポイント還元の対象外です。

対象設備と
還元額

A・Bについては、Aと、Bのうちいずれか一つ以上の設備が、合わせて設置された状態になることが還元の条件になります。詳しくはウェブページを確認してください。

設備		還元額
A	太陽光発電設備	15,000円分/kW(上限4kW)
	おひさまエコキュート	20,000円分/戸
B	電気自動車	100,000円分/戸
	蓄電池	150,000円分/戸
C	燃料電池（エネファーム）	30,000円分/戸
	V2H※充放電設備	100,000円分/戸

※電気自動車に蓄えられた電力を家庭用に有効活用する設備

問合せ

横浜グリーンエネルギーパートナーシップ事業事務局（7月31日(木)開設）

TEL

050-5846-3614

FAX

0570-069-664

他にも、毎日できる行動が！



マイバッグを使う



電気をこまめに消す



正しく分別してリサイクルする

問合せ

脱炭素ポータルサイトについて

脱炭素・GREEN×EXPO推進局脱炭素ライフスタイル推進課

TEL

045-671-2661

FAX

045-550-4838

はま

情報

今月11日以降の、市や外郭団体などが主催・共催の事業を掲載しています
市外局番は「045」です

募集

市民病院 脳卒中・神経脊椎センター

Yokohama Nurse

横浜市立病院
看護職員募集

中央職業訓練校

訓練生募集

日程等詳細はこちら▶

市立学校臨時的任用職員・非常勤講師 登録者募集

教員・栄養職員・事務職員の欠員時に代替勤務。面談後に登録。事前申込制。会場など詳細は[WEB](#)で

日 8月23日(土)・9月6日(土)・20日(土)・27日(土)

申 希望日の前日まで

問 教育委員会東部学校教育事務所 (TEL)411-0605 (FAX)411-0613)

訪問看護入門セミナー 参加者募集

訪問看護への就業を目指す看護師免許保有者・看護学生向けの基礎知識習得。選考30人。会場など詳細は[WEB](#)で

日 11月11日(火)9時30分～12時30分

申 9月7日まで

問 県看護協会 (TEL)263-2926 (FAX)263-2905) か健康福祉局高齢在宅支援課 (TEL)671-2405)

市営住宅入居者募集

定期募集で未入居の住宅に原則先着で受付。詳細は8月15日から募集のしおり(区役所広報相談係で配布)か[WEB](#)で

申 8月28日から

問 住宅供給公社 (TEL)451-7777 (FAX)451-7769)

横浜市職員募集

社会人 採用試験

【区分】事務・社会福祉・心理・デジタル・技術系など

【試験日】8月29日(金)～9月12日(金)のうち受験者が選択する日

【受付期間】8月12日～26日

問 人事委員会任用課 (TEL)671-3347 (FAX)641-2757)

動物適正飼育推進員募集

18歳以上、選考。11月から2028年3月まで。詳細は[WEB](#)で

申 8月29日まで

問 横浜市動物愛護センター (TEL)471-2111 (FAX)471-2133)

食の安全・安心推進横浜会議 市民委員募集

選考。12月から2年間。詳細は[WEB](#)で

申 8月29日まで

問 医療局食品衛生課 (TEL)671-2460 (FAX)550-3587)

よこはま保育フォーラム2025開催 保育士を目指す人 募集

保育に関する取組の発表・施設紹介・就職相談。

日 9月7日(日)10時～15時

所 パシフィコ横浜

問 横浜市社会福祉協議会 (TEL)201-2219 (FAX)201-1661)

「障害者週間」作品募集

①ポスター②心の輪を広げる体験作文

①小・中学生②小学生以上。詳細は[WEB](#)で

申 9月1日まで

問 健康福祉局障害施策推進課 (TEL)671-3598 (FAX)671-3566)

福祉・高齢

更新のお知らせ

①福祉特別乗車券(障害)
②福祉タクシー利用券(重度障害)
③障害者自動車燃料券(重度障害)

9月30日期限の各券を所持し、10月以降も引き続き対象となる人へ①の納付書を普通郵便で8月末に発送、②③の利用券を簡易書留で9月中旬に発送。新規申請は居住区の福祉保健センターへ

問 専用コールセンター (TEL)628-9350 (FAX)628-9354 (8月22日～10月10日)) か健康福祉局障害自立支援課 (TEL)671-2401 (FAX)671-3566)

あんしんノート書き方講座 参加者募集

小学5年生以上の障害のある人と家族、各選考30人。詳細は[WEB](#)で

日 各10時30分～13時、全2回。9月25日(木)・26日(金)、11月26日(水)・27日(木)

所 横浜ラポール

申 9月5日まで

問 障害者支援センター (TEL)681-1277 (FAX)680-1550)

家具転倒防止器具の取り付け支援・器具代補助のお知らせ

年齢要件等あり。取り付けは無償、器具代は補助あり。詳細は[WEB](#)で

申 2026年1月31日まで

問 ユニディ狛江店 (TEL)03-5438-5511 (FAX)03-5438-5515) か総務局地域防災課 (TEL)671-3456)

養育費セミナー 参加者募集

ひとり親家庭か離婚予定の親、各抽選20人。詳細は①7月14日から②9月22日から[WEB](#)で

日 各9時45分～11時45分

①9月3日(水)②11月13日(木)

所 青少年育成センター

保 1歳6か月～未就学児(予約制)

申 ①7月14日～8月27日に②9月22日～11月6日にTELで、ひとり親サポートよこはま (TEL)227-6337 (FAX)227-6338)

問 申込先かこども青少年局こども家庭課 (TEL)671-2390)

難聴でお悩みの人へ
補聴器の購入費を一部助成します

50歳以上の市民税非課税世帯で軽度・中等度難聴の人。
申請受付は郵送のみ。

先着300人。詳細は[WEB](#)で

申 8月18日～2026年1月16日

問 医療局医療政策課 (TEL)671-4872 (FAX)664-3851)

講演・講座

講演「食物アレルギーとアトピー性皮膚炎」参加者募集

子どもの気になる症状を専門医が解説。事前申込制。詳細は[WEB](#)で

日 9月6日(土)13時～15時

所 戸塚公会堂

申 8月29日まで

問 こども青少年局地域子育て支援課 (TEL)671-2455 (FAX)550-3946)

講演「こころとからだを整える呼吸の力」参加者募集

呼吸筋ストレッチ体操によるセルフケア。先着120人。詳細は[WEB](#)で

日 10月2日(木)10時～11時45分

所 市役所アトリウム

申 8月12日から

問 健康福祉局健康推進課 (TEL)671-3824 (FAX)663-4469)

市民法律講座 参加者募集

相続・終活・離婚・ネットトラブル。抽選220人。詳細は[WEB](#)で

日 10月2日～23日の木曜18時15分～20時15分、全4回

所 関内ホール

費 1,000円

申 9月5日まで

問 市民局市民相談室 (TEL)671-2306 (FAX)663-3433)

成年後見制度がよくわかる講習会 参加者募集

制度概要・法定後見の申立て手続き方法。各先着90人。詳細は[WEB](#)で

日 各13時30分～16時

①10月1日(水)②10月31日(金)

所 健康福祉総合センター

申 8月15日から

問 よこはま成年後見推進センター (TEL)201-2088 (FAX)201-9116)

パパの子育て応援セミナー オンライン開催

0歳児の父親を対象に子どもとの関わり方のコツを伝授。事前申込制。詳細は[WEB](#)で

日 9月7日(日)10時～11時30分、9月10日(水)21時～22時30分

申 9月4日まで

問 こども青少年局地域子育て支援課 (TEL)671-4157 (FAX)550-3946)

催し

薬物乱用防止キャンペーン in 横濱 開催

体験型イベントなどで薬物乱用の危険性と正しい知識の普及・啓発。詳細は[WEB](#)で

日 8月21日(木)11時～15時

所 新都市プラザ

問 事務局(横浜市薬剤師会内、TEL)761-7840 (FAX)754-3000)

薬物依存症者と家族フォーラム 開催

依存症に対する正しい理解と回復に向けた講演・体験談ほか。抽選250人。オンライン配信もあり。詳細は[WEB](#)で

日 8月23日(土)12時30分～16時30分

所 南公会堂

申 8月16日まで

問 横浜ひまわり家族会 (TEL)080-3488-1996 (FAX)947-3975) か健康福祉局障害自立支援課 (TEL)671-3602)

爆笑! 濱っ子寄席 観覧者募集

青少年育成寄付金募集のためのチャリティ公演。先着1,000人

日 11月14日(金)18時～21時

所 関内ホール

費 3,500円・4,000円

申 9月16日からTELでよこはまユース (TEL)662-3716 (FAX)662-7645)

バス魅力発見デー2025 開催

バスに関する講演や車両展示、バス乗務員募集説明会。詳細は[WEB](#)で

日 8月24日(日)10時～16時

所 市役所アトリウム

問 都市整備局交通企画課 (TEL)671-4128 (FAX)663-3415)

日 日時 **所** 場所 **費** 費用 **保** 保育 **申** 申込み **問** 問合せ **WEB** ウェブページ **往** 往復はがき **ハ** はがき **必要事項** 行事名・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・往復はがきは返信面を明記

市政へのご意見・ご提案

手紙

「市民からの提案」と明記し、居住区の区役所へ。市役所や区役所、公共施設に専用封筒もあります。

インターネット

市民からの提案 検索

広報よこはまをアプリやウェブで

広報よこはまは無料アプリ「カタログポケット」で閲覧できます。紙面や文字を拡大でき、記事内の二次元コードをタップするだけで、詳細ページがひらきます。音声読み上げや多言語にも対応しています。

広報テレビ・ラジオ番組(レギュラー放送のみ)

テレビ

ハマナビ tvk ㊦ 18:00～18:30
YOKOHAMA My Choice! FMヨコハマ ㊦ 9:30～10:00
Public Service Announcement inter fm 897 ㊦～㊦12:55～12:58

ラジオ

「シニア×生きがいマッチング事業」 2025 キックオフイベント 参加者募集

仕事などで培った経験・スキルを生かしたボランティア活動等に参加希望の人。
60歳以上、抽選100人。詳細は[WEB](#)で
日 8月27日(水)18時30分～20時
所 Kosha33ホール
申 8月22日まで
問 健康福祉局地域包括ケア推進課 ([Tel](#) 671-3464 [Fax](#) 550-4096)

横浜夏季果樹 持寄品評会開催 浜なし・浜ぶどうの販売

売切れ次第終了
日 各10時。荒天中止。出品展示物の販売は11時(9時30分から会場で整理券配布)。①8月22日(金)②9月9日(火)
所 JA横浜。①きた総合センター②みなみ総合センター
問 JA横浜 ([Tel](#) 805-6612) かみどり環境局農業振興課 ([Tel](#) 671-2637 [Fax](#) 664-4425)

お知らせ

人生記念樹の秋配布 受付中

2024年3月29日～2026年8月29日に出生・入学・結婚・住宅新築などの記念日を迎える人に苗木を配布。詳細は[WEB](#)で
日 10月24日(金)～26日(日)

申 8月29日まで
問 みどり環境局環境活動事業課 ([Tel](#) 671-3447 [Fax](#) 550-4554)

令和7年度 個人市民税・県民税・森林環境税 (第2期) ①納付期限②納付方法のお知らせ

①9月1日(月)まで②スマホ決済、クレジット納付、ペイジー納付、口座振替
問 居住区の区役所税務課か、財政局
①税務課 ([Tel](#) 671-2253 [Fax](#) 641-2775)
②徴収対策課 ([Tel](#) 671-2255 [Fax](#) 641-2775)

市立小学校、義務教育学校前期課程 就学通知・就学時健康診断のお知らせ

2026年4月入学者へ10月中旬に通知を発送。健康診断は10月下旬～12月上旬に実施。詳細は8月中旬から[WEB](#)で。外国籍の入学希望者は居住区の区役所戸籍課へ問合せを
問 居住区の区役所戸籍課か教育委員会
学校支援・地域連携課 ([Tel](#) 671-3270 [Fax](#) 681-1414)、健康診断は人権健康教育課 ([Tel](#) 671-3275 [Fax](#) 550-3627)

女性弁護士による法律相談会 開催

離婚・DVなど。各先着6人
日 各13時～16時。8月26日(火)・28日(木)
申 希望日の1週間前から[Tel](#)で会場の市役所市民相談室 ([Tel](#) 671-2306 [Fax](#) 663-3433)

環境アセスメント図書の縦覧

(仮称)新根岸地区土地区画整理事業(米軍返還前)計画段階配慮書
環境情報提供書の提出は問合せ先へ
日 8月5日(火)～19日(火)
所 区役所広報相談係(磯子・中・南区)、問合せで
問 みどり環境局環境影響評価課 ([Tel](#) 671-2495 [Fax](#) 663-7831)

都市計画審議会 開催

まちづくりや緑地の保全、都市づくりの方針などの都市計画を調査審議。傍聴可。オンライン配信もあり。詳細は[WEB](#)で
日 8月29日(金)13時～15時
所 市役所市会議事堂
問 建築局都市計画課 ([Tel](#) 671-2657 [Fax](#) 550-4913)

＼オンライン申請がおすすめ／

定額減税の不足額が給付されます！

このハガキが届いた人は、令和6年度に減税しきれなかった額が追加で給付される可能性があります。オンラインまたは郵送で申請してください。詳細は[WEB](#)で
申 10月31日(金)まで
問 横浜市定額減税補足給付金(不足額給付)コールセンター ([Tel](#) 0120-045-320 [Fax](#) 0120-303-464)



みなさんの協力が必要です

再配達を減らして、物流と環境を守ろう！

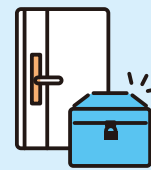
全国的にトラックドライバーが不足し、2030年度には輸送力が約34%不足するともいわれる中、再配達の増加が、更なるドライバー不足の深刻化や、CO₂排出による環境への負荷増などの原因になっています。ドライバーの負担軽減のために、確実な受取日時の指定や宅配ボックスの活用などで、再配達を減らしましょう。みなさんの行動が、将来の物流の維持と環境保護につながります。

問合せ 経済局消費経済課 [Tel](#) 045-671-2584 [Fax](#) 045-664-9533

例えば…



自分が1回で確実に受け取れる日時・場所を指定しよう



宅配ボックス・置き配を活用しよう



詳しくはこちら



海、港、緑、歴史、地域、人々、さまざまな魅力を持つ都市横浜。この街の彩りを「よこはま彩発見」としてお届けします。今回は、横浜都市発展記念館(中区)からです。

戦後80年 戦争の記憶－戦中・戦後を生きた横浜の人びと－

横浜都市発展記念館 主任調査研究員 西村 健

本年は戦後80年の節目の年にあたります。昭和期の戦争は国家総力戦という形式で行われたため、国内のあらゆる物資や人的資源は戦争のために総動員されることになり、横浜市民の生活にも大きな影響を与えました。多くの市民が兵士として戦場に赴いたほか、第二次世界大戦末期には横浜への大規模な空襲により、多数の市民が死傷する悲劇が生じました。また、戦後の横浜は市街中心地をはじめとした多くの土地や建物が占領軍の接収を受け、数万もの占領軍兵士が行き交う基地の町となりました。

この状況下で、戦争によって親を失った孤児や、占領期に生まれた多様な背景を持つ子どもなど、何ら罪のない子どもたちが、戦後も戦争の影響によって、社会的な困難に直面する厳しい人生を送ることを余儀なくされました。



▲「GIベビー」を保護した聖母愛児園(中区山手町)の子どもたち 昭和20年代 横浜都市発展記念館蔵
ファチマの聖母少年の町卒園生寄贈

横浜都市発展記念館では、横浜市民の戦中・戦後における戦争被害に関する調査研究を継続して行ってきました。今回の特別展では、空襲による被害や戦争が市民生活にもたらした影響を資料や証言記録から紹介するほか、戦後の占領期にも続いた戦争被害の実態についても、子どもたちが受けた影響に焦点を当てて紹介します。戦後80年を迎え、戦争を直接体験した世代が少なくなっていく中で、その記憶を次世代につないでいくためにも、戦争が一般の市民にもたらす惨禍について、改めて考えるきっかけ

となれば幸いです。

特別展「戦後80年 戦争の記憶－戦中・戦後を生きた横浜の人びと－」は、9月28日(日)まで開催中。

さらに詳しい話は
こちら



ウェブ版では
抽選で
読者プレゼント
あり

横浜都市発展記念館 **有料**

【交通】 みなとみらい線「日本大通り」駅下車、徒歩すぐ。
【休館日】 毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始



問合せ 横浜都市発展記念館 [Tel](#) 045-663-2424 [Fax](#) 045-663-2453

国際会議TICAD 9がいよいよ開催
アフリカを身近に感じてみよう！

8月20日(水)～22日(金)、第9回アフリカ開発会議(TICAD9)が開催されます。
会議の開催にあわせ、7、8月を「アフリカ月間」として、食・学びなどのアフリカに
関する多彩なイベントを市内各地で実施中です。内容や期間など、詳しくはウェブペー
ジを確認してください。



詳しくは
こちら



食べる
期間限定アフリカ
メニューが登場！

- よこはま動物園ズーラシア サバンナテラス
- 象の鼻テラス内 象の鼻カフェ
- JICA横浜3階 ポートテラスカフェ



▲南アフリカの家庭料理「マフェ」
(よこはま動物園ズーラシア提供)

知る・学ぶ
アフリカの今を知る

- 国際協力に関するパネル展(JICA横浜1階)
- アフリカの子どもたちの環境に関する絵日記の展示(JICA横浜2階)



▲アフリカプリントの製品

買い物する
横浜南部市場で
出会えるアフリカ

- 絵柄や配色が美しいアフリカプリントの製品
- 南アフリカ原産のミネラル豊富なスパイス
- ナミビア沖で獲れたまるずわいがにの特売

TICAD9開催期間中、
みなとみらい地区へお出かけの際は、
公共交通機関の利用をお願いします。

「アフリカに一番近い都市・横浜」 横浜市は、アフリカとの連携を積極的に進めています。

【子どもたちとアフリカをつなぐ】
子どもたちが、各国大使館やアフリカの
生徒と言葉や文化の違いを超えて交流す
る機会をつくっています。



ケニア大使館による特別授業の様子▶

【国際的な技術協力】
廃棄物の分野では、アフリカ各国
からの研修員を受け入れ、ごみ収集
の仕組みやごみ分別の取組を伝えて
います。



研修の様子▶

問合せ 国際局グローバルネットワーク推進課 ☎045-671-2068 ☎045-664-7145

敬老パス(ICカード)は捨てないで！
敬老パスの納付書が届いたら、期限までに納付してください

敬老パスを10月1日以降も利用するには更新手続きが必要です。納付書を8月末までに順次発送しますので、届いた人は、
納期限※までに必ず負担金を納付してください。 ※人により期限が異なるため、詳しくは納付書を確認してください。



詳しくは
こちら



敬老パスを 利用中の人	納付書が届いた人	→	【納期限】8月25日(月)または9月9日(火)	→	現在お使いの敬老パスの有効期間が延長されます。
	負担額決定通知書が届いた人	→	手続き不要	→	⚠️ カードは捨てず、そのまま利用してください。
敬老パスを 利用していない人	納付書が届いた人	→	【納期限】8月25日(月)	→	9月末までに敬老パスを送付します。
	負担額決定通知書が届いた人	→	手続き不要	→	

有効期限がわからない人は、お手元に敬老パスを準備し、専用ダイヤル(☎0120-192-123)に連絡してください。

75歳以上で、2025年4月1日以降に運転免許証を自主返納した人は、申請すると3年間敬老パスが無料になります。
現在敬老パスを利用中の人も対象のため、詳しくはウェブページを確認するか、問合せダイヤルに連絡してください。



詳しくは
こちら

問合せ 敬老パス問合せダイヤル ☎0120-206-160(毎日8時～19時) ☎045-330-4382

スポーツの力を横浜の力に

横浜市を拠点に活躍する7競技13のトップスポーツチームと、スポーツを通じたまちづくりに取り組んでいます。
スポーツを楽しみながら、地域を元気に、笑顔にする活動を広げていきます。



詳しくはこちら

トップアスリートが届ける 特別授業

選手やスタッフが、夢や目標に向かって努力することの大切さや、スポーツの楽しさを伝え、子どもたちの未来を育みます。



▲横浜DeNAベイスターズの学校訪問授業
©YDB

スポーツがつなぐ 笑顔の輪

福祉施設への訪問やスポーツ教室を通じて、体を動かす喜びや楽しさをみんなで感じながら、笑顔あふれる時間を過ごしています。



▲横浜FCの障害者向けスポーツ教室

市民招待



女子ラグビー ワールドカップ 2025

パブリックビューイング開催

8、9月にイングランドで行われる「女子ラグビーワールドカップ2025」のパブリックビューイングを開催します。当日はゲストによる見どころ解説もあり、ラグビー初心者も楽しめます。大画面で世界最高峰の熱戦を一緒に応援しませんか。

皆さんの熱い応援を力に変えて、必ず史上初のベスト8へ進出します！遅い時間帯にはなりますが、ぜひ私達と共に戦ってください！
ご声援のほど、よろしくお願いいたします。



横浜市
出身

山本 実 選手
YOKOHAMA
TKM所属

日本代表
VS
アイルランド代表

【日時】8月24日(日) 20時から(予定)
【会場】市役所アトリウム
【申込期限】8月15日(金)

日本代表
VS
スペイン代表

【日時】9月7日(日) 20時から(予定)
【会場】戸塚公会堂 講堂
【申込期限】8月22日(金)

【対象】市内在住・在学・在勤の人 200名
※申込多数の場合は抽選となります



大会概要・
申込みはこちら



横浜F・マリノス ホームゲームに500組1,000名を招待

スタジアム周辺には子どもが楽しめるアトラクションも充実。迫力ある試合の観戦とあわせて、楽しい時間を過ごしませんか。



横浜 F・マリノス
VS
アビスパ福岡

【日時】9月20日(土) ※キックオフ未定
【会場】日産スタジアム
【申込期限】9月2日(火)

【対象】市内在住の人 500組1,000名
※申込多数の場合は抽選となります



申込みは
こちら

問合せ 横浜F・マリノス トリコロールメンバーズ事務局 TEL 045-285-0677 MAIL info@yokohama.marinos.co.jp

問合せ にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興課 TEL 045-671-4566 FAX 045-664-0669

